

## 「主イエスの復活がなければ・・・」

「キリストが復活しなかったのなら、私たちの宣教は無駄であり、  
あなたがたの信仰も無駄になります。」  
(聖書協会協同訳 コリントの信徒への手紙 I 15:14)

イースターおめでとうございます。春の訪れと共に今年もキリスト教会の最大の祝祭日であります主イエス様のご復活を祝う復活日を迎えました。キリスト教の最大の祝日はクリスマスではなく、イースターです。冒頭の聖句にあるようにキリストの復活こそが私たちの信仰の根源です。

ルカによる福音書の特徴の一つとして女性の働きに光が当てられています。当時男性中心の社会においてこのことは注目すべき点であると思います。

そして、最初の復活の証人になったのは主の弟子ではなく、女性たちでした。

彼女たちは慕うイエス様のご遺体に香料を塗るために朝早く出掛けていきました。それには理由があったのです。それは律法で安息日の労働が禁じられていたからです。本当は一刻も早く行きたかったのだと思いますが、安息日が明ける早朝に出掛けていったのです。ところがそこにはイエス様の遺体はなく2人の輝く衣を着た人が立って主の復活を告げました。彼らの言葉を聞いてはっと彼女たちは思い出しました。

「そうだわ、私たちの主はそんなことを以前におっしゃっていたわ」。

そして彼女たちはすぐに主の復活を、弟子たちに告げたのでした。

「あなたが私の復活を信じるならば、あなたがそのことを人々に伝えなさい」と主は語りかけてくださっているような思いがいたします。

私たちが忘れてはいけないことが2つあると思います。それは「イエス様の言葉を忘れないこと、たとえ忘れても思い出すこと」そして、もう一つは「私たち一人ひとりが主の復活の証人」であるということです。女性たちが伝えなければ弟子たちは主の復活を知ることは出来ませんでした。盛岡聖公会、仁王幼稚園、聖パウロ幼稚園も誕生していませんでしたし、私たちが出会うことはなかったでしょう。

この喜びの源泉を忘れないで、伝えていきましよう。(司祭 越山哲也)

